



科学センターからのお知らせ

6月の休館日 7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)

おもしろ科学実験

参加無料・予約不要

毎週土、日曜日に、毎回異なるテーマで小学生から楽しめる科学実験ショーを行っています！

時間 ① 11:00 ~ ② 14:20 ~ (1回約30分)

内容 6月のテーマは以下の通り

(詳細はホームページをご覧ください。)

- 5日(土) よく飛び出す立体めがねを作ろう
- 6日(日) 空飛ぶ種の秘密を探ろう
- 12日(土) ふしぎ物質 ゴム！
- 13日(日) LEDを使った実験を楽しもう
- 19日(土) 虹はどこにあるかな
- 20日(日) バイオメタルで実験しよう
- 26日(土) 形のふしぎ、いろいろ
- 27日(日) いろいろな橋を比べてみると



令和3年度 科学センター理科学習が開始！

科学センターでは市内の全22校に通う小学3年~6年生を対象にした、「理科学習」を実施しています。学校現場では用意しにくい実験や観察を中心に授業展開し、児童たちの科学に対する興味や関心を育むことを目的としています。本事業は阿南市の理科教育の目玉で、全国でも同様の事業は他2例しかないユニークな取組です。

令和2年度はコロナ禍の影響を受け、各学校に職員が出張する形で授業を行いました。今年度は5月12日から例年通り、児童たちは各学校からバスでセンターを訪れ、施設の教材をフル活用した授業が展開されています。



第5回 あなん星空コラム



球状星団 (M13) / 科学センター撮影

しとしとと雨が続く梅雨の6月。天体観察がしにくいシーズンではありますが、夜空には初夏の星座「ヘルクス座」、「へびつかい座」、「てんびん座」などが姿を現しています。中でもヘルクス座には写真のような「球状星団 (M13)」と呼ばれる天体が輝き、当館の四国最大の天体望遠鏡を使えば、美しい無数の星の集まりとして観察することができます。実際の星の数は10万個以上に上り、不思議なことに100億歳以上という長寿命の古い星ばかりで構成されています。この年齢は私たちが住む天の川銀河の誕生初期とも重なることから、球状星団は大昔の宇宙を研究する手掛かりにもなっています。天体観望会では6月~9月ごろまでご案内していますので、ぜひ観察にいらしてください。(今村和義・著)

おもしろ科学実験 プラネタリウム 天体観望会など 土、日曜日の定期イベントはホームページのイベントスケジュールをご覧ください。



科学センター

☎42-1600 <http://ananscience.jp/science/>